

学校給食に地場産米導入へ

教育効果も大！生産者の顔の見える
給食の実施にめど

市長に就任して丸一年を迎えた浜田市長は十一月九日、市議会開会にあたり、本市を取り巻く情勢と今後の市政の方向について所信を述べました。

この中で浜田市長は、高知空港再拡張問題、オフィスパーク事業の進捗状況など当面する市政の重要な課題を報告した後、第一回つらゆき時代まつりの成果についてふれました。(あらましは次のとおりです)

プロジェクト事業

高知空港の再拡張については、県が六月下旬から用地交渉に入り、契約済み用地内の埋蔵文化財の発掘調査も本格的に始まりました。空港本体の補償工事については、国が基本設計案を策定し関係団体や地元への説明を始めた。地権者に約束した周辺対策については、幾つかを八年度から事業化しました。引き続き九年度以降の事業化を着実に進めます。空港周辺地区の要望や空港本体の補償工事についても、市として地元の要望をできるだけ実現させるため、国・県に強く働きかけていきます。

産業振興

農林行政については新生産調整推進対策が、市全体として目標を達成しました。

施設園芸は出荷最盛期へ入りまします。昨年は三年ぶりに売り上げも上向きしました。今年はさらに良い成績を期待しています。生産出荷体制の整備後継者対策など構造上の問題への対応として、農業構造改善ソフト事業による中長期計画を策定中です。

中山間地域の振興は、特定農山村法による総額四億円の事業計画と推進組織を設置、国とのヒアリングに取りまします。基金条例によるソフト事

業に着手しています。

学校給食に地場産米を導入することを目的に、農業委員会・農林課などが連携して、県給食会と再三の交渉を行ってきた結果、高知食糧事務所・県経済連・JA南国市・県教育委員会など関係機関との協議が整い、平成九年度から市内の中山間(上倉・瓶石)産の「米一黄金錦」を主に、供給するめどがつかまりました。

給食による米の消費拡大策としては、現在週三回の米飯給食制度を自炊炊飯方式により週五回実施とすべく、国・府・稲生小学校を実験モデル校に指定して準備を進めています。



整備が進む吾岡山文化の森公園

都市計画事業

吾岡山文化の森公園整備は、飲業構想も解決し、市民の広場の確保にめどがつかました。工事の早期完了を目指します。

住宅政策の方針を示す住宅マスタープランは、市民・行政・専門家による委員会方式で協議を進めています。

市営住宅の水洗化による環境改善は、三か年計画の最終年度となり完了見込みです。小籠住宅の建て替え事業は、国庫債務負担行為を受け、本議会に限度額三億三千万四千円の補正予算を計上し、前倒し発注で早期完成を目指します。

財政運営見直し

地方財政は、地方税の伸び悩み、地方交付税の落ち込みなどに加えて、特別減税が実施されたことにより財源不足が生じる深刻な事態です。

本市の九年度歳入は、「景気」に、種やかに回復傾向にある」との見通しの中、所得税・住民税の特別減税など、前年度並みの見込みです。

夢が膨らむ 『吾岡山文化の森』 完成予想図

- 総合的には10年度末完成
- 多目的広場 約16,000㎡
 - 市民の広場 約12,000㎡
 - 駐車場(10C台収容) 約2,000㎡
 - 子どもの広場 約2,700~3,000㎡



市民の憩いの場… ゆとりとくつろぎの森。人が集い、文化にふれる、交流と情報の広場。健康文化都市南国の都市拠点『吾岡山文化の森』連帯と活力の象徴として、今、夢が膨らむ。

南国市HOPE計画

『まちづくりイメージ』

南国市HOPE計画の提案については、前号までにお知らせしましたが、今回はHOPE計画に基づき、最近建築された公共施設および民間施設(事務所)を紹介します。



〈東部消防屯所〉

市民の生命と財産を守る重要な役割の施設であると同時に、まちづくりを担う建物として設計されたものです。

地域の伝統的な蔵のイメージで、周囲にやさしく現しみのある建物となっています。



〈土佐農業共済組合〉

HOPE計画に賛同し、協力してきた民間建物(増築)で、外部デザインは地域の伝統的な雰囲気、自転車置き場など細部についても、やさしく建築された建物です。